



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月13日

上場会社名 株式会社シンニッタン 上場取引所 東
コード番号 6319 URL <https://snt.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平山 泰行
問合せ先責任者 (役職名) 取締役グループ戦略部長 (氏名) 高橋 克夫 TEL 044-200-7812
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	13,852	△17.3	△113	—	273	△69.8	164	△84.0
2024年3月期第3四半期	16,746	3.1	654	5.1	907	10.3	1,032	126.7

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 457百万円 (△75.3%) 2024年3月期第3四半期 1,855百万円 (2.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	4.50	—
2024年3月期第3四半期	28.15	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	38,334	27,049	69.9
2024年3月期	38,971	26,996	68.7

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 26,814百万円 2024年3月期 26,777百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	11.00	11.00
2025年3月期	—	0.00	—		
2025年3月期（予想）				10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,300	△15.2	△100	—	325	△70.3	210	△78.9	5.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期3Q	55,000,000株	2024年3月期	55,000,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	18,290,562株	2024年3月期	18,320,802株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年3月期3Q	36,693,709株	2024年3月期3Q	36,668,147株

(注) 当社は期末自己株式数及び期中平均株式数には、従業員インセンティブ・プラン「株式給付信託（J-E S O P）」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行（信託Eロ）が所有している当社株を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用の改善や賃上げの動きなどに支えられ、緩やかに回復しています。またインバウンドを含めた人流と消費動向は所謂コロナ禍前の状態に回帰したものと考えられます。一方景気については、長引く人手不足、物価上昇、米国の政策動向や中東情勢の先行き懸念といったネガティブ要因による足踏みも見られ、一進一退の動向の中で特に海外景気の下振れに伴う下押しリスクが懸念されています。

当社グループの業績においては、牽引していた建設機械産業向け鍛造品の需要がピークを越したことにより、業績見通しが弱含みとなっております。自動車産業向け鍛造品に関しては、長期間にわたり半導体不足の影響を受けていた自動車生産活動の回復効果が、徐々にではありますが当社グループの受注改善につながったものの、一部取引先における固有の事情等により受注が先送りになる事象が生じています。また、ウクライナ情勢等を受けた資源価格、電力をはじめとしたエネルギー価格、労務費、運送費の上昇等の製品価格への反映について鋭意交渉を進めておりますが、妥結までの過程において一部途上にあること、さらにタイ国におけるピックアップトラックの販売不振が収益回復への足かせとなっております。

当連結会計年度中には、経営環境におけるネガティブな要因が緩和され、一部取引先からの受注先送り収束に伴う増産要請が見込まれるなど、当社グループの業績は改善して行くものと予想しておりますが、当初想定以上に経営環境が悪化しているため、これまでの業績進捗の遅れを挽回することは厳しい状況となっております。

このような状況下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、主力の鍛造事業で販売重量が落ち込んだことにより、前第3四半期連結累計期間比28億94百万円減少の138億52百万円となりました。利益については、主に鍛造事業における受注減少に伴う生産効率の低下が影響し、営業損失が1億13百万円（前第3四半期連結累計期間は6億54百万円の利益）、経常利益は2億73百万円（同9億7百万円の利益）と前第3四半期連結累計期間の水準を下回りました。前第3四半期連結累計期間には特別利益として投資有価証券売却益5億20百万円を計上しましたが、当第3四半期連結累計期間は同1億53百万円の計上にとどまり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億64百万円（同10億32百万円の利益）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

鍛造事業

当社グループの主要事業である鍛造事業においては、グループ各社の販売重量が減少したことにより、売上高は前第3四半期連結累計期間比27億99百万円減少の115億44百万円となりました。セグメント利益は、受注減少に伴う生産効率の悪化が原価率上昇を招き1億47百万円の損失（前第3四半期連結累計期間は4億61百万円の利益）となりました。各分野の状況は以下のとおりです。

① 自動車産業向け

鍛造品の主要マーケットである国内自動車産業の海外生産及び部品現地調達拡大により、同産業に関わる鍛造品の国内需要は減少傾向にあります。長引く新型コロナウイルス感染症の自動車生産活動への影響は看過できる水準となりましたが、取引先固有の事情により受注先送りとなる事象が生じており、操業の回復度合いは抑制されております。

タイ国の子会社においては、電力などエネルギー価格高騰に関し日本に比べて製品販売価格への反映が難しいものの、一部取引先との交渉が緒に就き、今後の状況改善が見込まれるようになりました。しかしながら、同国政策金利の上昇を伴った金融引締めの影響でピックアップトラックに対する消費者の購買力低下に直面していること等厳しい経営環境が続いており、事業計画自体にそのリスクを織込みながらも当初想定を超える苦戦を強いられ、収益力の低下を招いております。

② 建設機械産業向け

建設機械産業は、建設機械ならびに鉱山機械の市況がピークを越し下降局面を迎えましたが、事業計画にはこの影響を織込んでおり、計画比堅調な業績推移を示しております。

③ その他産業向け

建築資材や工作機械部品など、自動車関連以外のマーケットでの受注に努めておりますが、取引先における在庫調整等に伴い、一部受注が先送りとなる事象が生じています。

建機事業

仮設機材の販売・リースを行う建機事業は、首都圏のみならず地方における再開発事業や社会インフラの改修整備等が堅調なことから、仮設機材の需要が安定基調にありました。売上高は前第3四半期連結累計期間比37百万円増加の16億57百万円ながら、やや利幅の薄くなる販売商品構成が影響し、セグメント利益は同91百万円減少の79百万円となりました。

物流事業

金属製パレットの製造販売を中心とした物流事業は、当第3四半期連結累計期間においても引続き取引数量が確保できず、業績は当初想定に達しませんでした。この結果、売上高は前第3四半期連結累計期間比1億24百万円減少の4億96百万円、セグメント損失は76百万円（前第3四半期連結累計期間は25百万円の損失）となりました。

不動産事業

不動産事業の売上高は、一部テナントの退去が影響し、前第3四半期連結累計期間比8百万円減少の1億54百万円、さらに修繕費が高んだことからセグメント利益は同11百万円減少の86百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6億37百万円減少し、383億34百万円となりました。資産の主な増減は以下のとおりです。

流動資産では、売上債権が回収の進捗並びに売上高減少により3億87百万円減少したこと、現金及び預金が8億65百万円増加したこと、主に鍛造事業において保有原材料からの生産と出荷が進み棚卸資産が3億58百万円減少したことなどにより、流動資産合計は前連結会計年度末に比べ3億11百万円増加し、223億4百万円となりました。また、固定資産では、有形固定資産が減価償却等により2億25百万円減少したこと、投資有価証券が一部売却及び時価下落の結果6億70百万円減少したこと等により、固定資産合計は前連結会計年度末に比べ9億49百万円減少し、160億29百万円となりました。

流動負債では、受注の減少から仕入債務が2億27百万円減少したこと、未払法人税等及び未払消費税が納税により2億92百万円減少したことなどにより、流動負債合計は前連結会計年度末に比べ6億24百万円減少し、90億35百万円となりました。また、固定負債では、繰延税金負債が1億10百万円減少したこと、退職給付に係る負債が31百万円増加したことなどにより、固定負債合計は前連結会計年度末に比べ66百万円減少し、22億49百万円となりました。

純資産は、利益計上と配当金支払い等により利益剰余金が2億44百万円減少したこと、その他有価証券評価差額金が4億49百万円減少する一方で為替換算調整勘定が7億22百万円増加しその他の包括利益累計額合計が2億73百万円増加したことなどにより、純資産合計は前連結会計年度末に比べ52百万円増加し、270億49百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当年度の連結業績予想については、2024年11月13日に公表した「業績予想の修正に関するお知らせ」から変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,016,805	12,882,432
受取手形、売掛金及び契約資産	3,466,942	3,328,420
電子記録債権	1,366,547	1,117,718
製品	1,978,265	1,692,961
半製品	115,365	113,256
仕掛品	993,768	1,025,876
原材料及び貯蔵品	1,186,081	1,096,964
その他	868,627	1,046,754
流動資産合計	21,992,404	22,304,384
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,985,441	6,035,469
その他（純額）	5,926,348	5,650,585
有形固定資産合計	11,911,790	11,686,055
無形固定資産		
	98,594	81,279
投資その他の資産		
投資有価証券	4,796,338	4,125,622
退職給付に係る資産	2,933	—
その他	171,771	138,995
貸倒引当金	△2,150	△2,150
投資その他の資産合計	4,968,894	4,262,467
固定資産合計	16,979,279	16,029,803
資産合計	38,971,683	38,334,188

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,322,393	3,227,376
電子記録債務	192,932	60,084
短期借入金	4,990,000	4,960,000
未払法人税等	221,974	24,436
賞与引当金	194,775	90,722
災害損失引当金	35,000	—
その他	702,130	672,449
流動負債合計	9,659,206	9,035,069
固定負債		
繰延税金負債	1,534,481	1,423,889
株式給付引当金	68,552	85,012
環境対策引当金	4,530	4,530
退職給付に係る負債	540,762	572,747
その他	167,568	163,384
固定負債合計	2,315,895	2,249,563
負債合計	11,975,101	11,284,633
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,256,723	7,256,723
資本剰余金	6,578,546	6,578,546
利益剰余金	16,330,154	16,085,362
自己株式	△7,391,863	△7,384,045
株主資本合計	22,773,560	22,536,586
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,056,842	1,607,821
為替換算調整勘定	1,947,378	2,669,670
その他の包括利益累計額合計	4,004,220	4,277,492
非支配株主持分	218,799	235,475
純資産合計	26,996,581	27,049,555
負債純資産合計	38,971,683	38,334,188

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	16,746,979	13,852,770
売上原価	14,726,475	12,671,909
売上総利益	2,020,504	1,180,861
販売費及び一般管理費		
従業員給料	355,146	352,423
運賃	314,018	278,736
その他	696,723	663,057
販売費及び一般管理費合計	1,365,888	1,294,217
営業利益又は営業損失(△)	654,615	△113,356
営業外収益		
受取利息	81,686	149,390
受取配当金	134,533	159,528
その他	65,610	123,715
営業外収益合計	281,830	432,634
営業外費用		
支払利息	22,852	28,672
固定資産除却損	581	1,916
不動産賃貸費用	—	12,921
その他	5,924	2,036
営業外費用合計	29,359	45,546
経常利益	907,086	273,732
特別利益		
投資有価証券売却益	520,000	153,230
受取保険金	36,033	—
ゴルフ会員権売却益	6,416	—
特別利益合計	562,450	153,230
特別損失		
固定資産処分損	10,266	53,744
ソフトウェア除却損	—	5,240
移転費用	15,788	—
災害損失引当金繰入額	37,575	—
災害による損失	6,719	—
特別損失合計	70,349	58,985
税金等調整前四半期純利益	1,399,187	367,977
法人税、住民税及び事業税	260,485	87,279
法人税等調整額	101,889	111,192
法人税等合計	362,375	198,472
四半期純利益	1,036,811	169,505
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,032,275	164,942
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,536	4,563

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	116,868	△449,020
為替換算調整勘定	701,909	737,033
その他の包括利益合計	818,778	288,012
四半期包括利益	1,855,590	457,518
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,837,015	438,214
非支配株主に係る四半期包括利益	18,574	19,303

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	鍛造事業	建機事業	物流事業	不動産事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	14,344,008	1,619,838	620,263	162,868	16,746,979
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	14,344,008	1,619,838	620,263	162,868	16,746,979
セグメント利益又は損失 (△)	461,816	171,517	△25,222	98,485	706,598

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	706,598
全社費用（注）	△51,982
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	654,615

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	鍛造事業	建機事業	物流事業	不動産事業	合計
売上高					
外部顧客への売上高	11,544,809	1,657,242	496,256	154,462	13,852,770
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	11,544,809	1,657,242	496,256	154,462	13,852,770
セグメント利益又は損失 (△)	△147,841	79,610	△76,595	86,517	△58,310

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	△58,310
全社費用（注）	△55,045
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失（△）	△113,356

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	1,011,610千円	879,352千円